

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330242043A	教職実践演習（幼） Exercise of teaching practice	永津利衣		専門	2	選択	4後期

科目の概要

「教職実践演習」は、現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け（DP2）、自立した社会人として自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢（DP3）をもつ幼稚園教諭の養成をめざすもので、教職課程の総仕上げの位置づけとなる科目である。本科目では、教育実習で明らかとなった各自の課題とその改善策の再検討や、これまでの教職課程で学んだ専門的な知識・技能の修得状況の確認について、また、自らの進路選択についてイメージの具体化を図ることを踏まえ、いくつかのグループワークを通して総括し共有することで、幼稚園教諭等としての自己の視野や考えを広げ、実践的な力に近づけていく。つまり、幼稚園教諭一種免許状を授与されるにふさわしい資質・能力を備えることをめざしている。

学修内容	到達目標
① 教職に関わる専門的知識・技能について、自らの修得状況を確認する。 ② 教職に関わる具体的・実践的事例について、教育実習の経験も踏まえて理解する。 ③ 「職業としての幼稚園教諭」の在り方について、自らの進路選択を踏まえて改めて省察する。	① 教職に関わる専門的知識・技能の修得状況について確認した上で、自らの課題とその解決策を挙げることができる。 ② 教職に関わる具体的・実践的事例について、教育実習の経験も踏まえて、それらの課題に対する自分なりの解決案を提示することができる。 ③ 自らの進路選択も踏まえて、「職業としての幼稚園教諭」の在り方について、自分の言葉で説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	手順や方法を考えて、確実に課題をやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいた情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく、話すポイントを整理して発表することができる。
	傾聴力	グループワークで人の意見を確認し、自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	自分の都合を優先することなく、決められたルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

適宜、プリント配布や資料の提示をする。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教職課程の総仕上げとして、「教育原理」「保育の心理学」「障害児保育」「保育内容」関連「幼児教育指導法」「こどもと環境」「こどもの健康」「こどもと人間関係」「こども言語」「こども表現」「こどもとの計画と評価」「教育実習（幼）」等の専門科目
 資格との関連：幼稚園教諭一種免許状

学修上の助言	受講生とのルール
教職課程の総仕上げとなる科目であるため、授業への取り組みと省察（reflection）に対する真摯な姿勢を期待する。	科目の性格上、基本的にすべて出席する。ただし、やむを得ない事由による欠席および遅刻・早退等の取り扱いについては、本学の学則等に則って判断する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
		レポート		60	①	✓				レポート等について、これまでの学習の総括として、次の観点で評価する。 ・教職に関わる専門的知識・技能の修得状況について確認できる。 ・自らの課題とその解決策を挙げることができる。 ・実践的事例について、教育実習の経験も踏まえ、それらの課題に対する自分なりの解決案を提示できる。 ・「職業としての保育者」の在り方について自分の言葉でまとめられている。
					②	✓				
					③	✓				
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓			発表において、次の観点で評価する。 ・発表の中に、自己課題に対する改善の計画と方法及びその過程、発展性が見られるか。 ・わかりやすくまとめられ、伝えられているか。			
			②	✓						
			③							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） 必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修することができる。 （実行力） 手順や方法を考えて、確実に課題をやり遂げることができる。 （課題発見力） 事実に基づいた情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力） 固定概念に捉われないことと、いろいろな方向から考えることができる。 （発信力） 聞き手にわかりやすく、話すポイントを整理して発表することができる。 （傾聴力） グループワークで人の意見を確認し、自分の意見を述べるすることができる。 （規律性） 自分の都合を優先することなく、決められたルールを守ることができる。			
			②	✓						
			③	✓						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀) レポート、成果発表、社会人基礎力、積極的な授業参加を総合し、90点以上が取得される。 A(優) レポート、成果発表、社会人基礎力、積極的な授業参加を総合し、80～89点が取得される。	B(良) レポート、成果発表、社会人基礎力、積極的な授業参加を総合し、70～79点が取得される。 C(可) レポート、成果発表、社会人基礎力、積極的な授業参加を総合し、60～69点が取得される。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・授業の概要と到達目標、成績評価の共有、受講に関する注意事項等について 保育者となるために～ 思いを書き出す。	講義・演習、ディスカッション	本科目の到達目標が理解できる。	(予習) シラバスを読 んでくる。 (復習) めざす保育者 像をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	教育実習を振り返る さまざまな園の特徴や 教育方針を知る。 部分実習や責任実習か らの学びを共有するこ とで、保育の方法を広 げる。	講義・演習、ディスカッション	多用な保育のあり方について視野を広げることが できる。	(予習) 自己の作成した指導案実を振り返る。 (復習) 本日の内容を まとめ、自己の保育の 信念を確認する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	保育者としての課題と成長 (1) ・これまでの学習や自分の 実習について振り返り、保 育者としての資質・能力を 高めるため、自己課題と 「強み」、自己課題とその 解決策の取り組みについて まとめ、発表する。	講義・演習、ディスカッション	自己課題と「強み」を まとめることができ る。	(予習) 自己の実習振 返り資料から、自己課 題をまとめる。 (復習) 自己課題とそ の解決策への取り組み に向けて資料を収集す る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	保育者としての課題と 成長(2) ・自己課題解決への取 り組みについて計画を 立てる。	演習、ディスカッション	自己課題解決への取 り組みについて明らか にすることができる。	(予習) 課題解決に向 けて、文献を調べる。 (復習) 課題解決に向 けて、練習や資料収集 等の取り組みを行う。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	保育者としての課題と 成長(3) ・自己課題解決に向 けて、具体的に調べたり 練習したりする。 ・各自の取り組みを 発表し、共有する。	講義・演習、ディスカッション	自己課題解決への取 り組みについて明らか にすることができる。	(予習) 課題解決に向 けて、文献等を調べ る。 (復習) 課題解決に向 けて、練習や資料収集 等の取り組みを継続す る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	保育者として実践力を 深める(1) ・診断のつかない気にな る子どもとその対応 ・インクルーシブ保育 の理念	講義・演習	診断のつかない気にな る子どもの特性につい てまとめることができ る。	(予習) 実習で出会 った支援を要する子ども の事例をまとめる(守 秘義務遵守の上)。 (復習) 診断のつか ない気になる子どもに どのような不利益が生 じるかまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	保育者として実践力を 深める(2) ・エピソード記録の書 き方を復習するととも に、記録の意図を理解 する。	エピソード記録の意義 と書き方を理解するこ とができる。	何らかの意見を持って ディスカッションに参 加できる。	(予習) エピソード記 録の書き方を復習す る。 (復習) 授業で学んだ 内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	保育者として実践力を 深める(3) ・動画を用いて、発達 と合わせて子どものて いねいに観察し記録す る。	演習・ディスカッション	動画を見て、書式に 従ったエピソード記録 を書くことができる。	(予習) エピソード記 録の書き方を復習す る。 (復習) エピソード記 録を完成させる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	保育者として実践力を深める(4) ・エピソード記録を通して、子ども理解を深める。 ・エピソード記録を見せ合い、テーマに沿ってディスカッションする。	講義・演習、ディスカッション	観点に沿って観察記録を書くことができる。	(予習) 子ども理解について復習しておく。 (復習) ディスカッションから学んだこと(特に子ども理解の観点)をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	保育者としての職務(1) 連携・協働について考える。 連携・協働できる人材となるために自分に何が必要か。	講義・演習、ディスカッション	連携・協働がなぜ重要か説明することができる。	(予習) 誰と、なぜ、連携・協働するのか考えてくる。 (復習) 連携・協働について学んだことをまとめ、継続して実践する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	保育者としての職務(2) 保育者としてのマナー、常識(自然環境、環境整備など)について学ぶ。	講義・演習、ディスカッション	本日の学びを理解し、大まかに実践することができる。	(予習) 清掃の方法について調べてくる。 (復習) 道端の草花の名前をレポートする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	保育者の専門性の向上(1) ・大学附属幼稚園園長先生の講話(「職業としての幼稚園教諭」の在り方、新規:子ども理解と集団づくり、 ・環境を通して行う保育、多様な子どもへの対応の実際) ・質疑応答	講義・演習、ディスカッション	園長先生の講話から気づきや学びをまとめ、自分の保育・教育観の参考にすることができる。	(予習) 実習やこれまでの授業で生じた疑問をまとめ、園長先生への質問を考えてくる。 (復習) 講話から得られた学びや、新たな自己課題についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	保育者の専門性の向上(2) 自己課題解決への取り組みを振り返りを行い、成長や学びについてまとめる。	講義・演習、ディスカッション	自己課題解決への取り組みを振り返り、成長や学びをまとめることができる。	(予習) 課題解決に向けた取り組みを振り返る。 (復習) 課題解決に向けた取り組みをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	保育者の専門性の向上(3) 自己課題に対する成長や学びについて発表して共有する。	講義・演習、ディスカッション	他者の自己課題解決への取り組みから、保育者として自己の視野を広げることができる。	(予習) 発表資料を作成し、発表練習を行う。 (復習) 発表を聞いて省察を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめ 授業での取り組みや学びを基に、「職業としての保育者」の在り方についてまとめる。	オンライン	「職業としての保育者」として適切な自分の考えを文章で述べるることができる。	(予習) 授業や自己の取り組みを振り返る。 (復習) 課題について自分の考えをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330242043B	教職実践演習(小)	小倉弘之		専門	2	選択	4後期

科目の概要

本学で修得を目指す社会人基礎力、pisa型学力の修得はもちろんのこと、DP3の教育現場での課題に対する見識を深め、専門的知識と技能の修得、そしてDP5の社会人として自己研鑽に取り組み、地域や国際社会で貢献できる人材育成を目指していく。本授業ではこれまで様々な科目や活動を通じて修得してきた教職に関する資質能力に関する「学びの集大成」として、新年度から自信をもって教師生活を始めることができるよう、様々な教育課題に対し、いかに判断・対応していくかの検討を行うとともに、自らの目標や課題を明確にして教職生活を円滑に開始できることを目指すものである。

学修内容	到達目標
① 教職に必要な知識や技能の修得を図る。 ② 教育現場で起こっている事例とその背景にある要因を踏まえ、よりよい対応を考える。	① 事例に関する協議を通し、教師として必要な知識や教授技能を修得することができる。 ② 教育現場で起こっている課題の解決に向けて、新任教員としてどのように対応すればよいかを修得した知識や技能を活用して考えることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 よりよい指導を行うためにいかにすればよいかを考え、必要な教材や教具、資料等可以考虑することができる。
	働きかけ力
	実行力 図書館の図書や資料、インターネットからの情報を効果的に活用し、新たな知見や有効な教具、資料等を作成することができる。
考え抜く力	課題発見力 これまで学習してきたことを踏まえ、学校現場における教育課題について問題意識を持つことができる。
	計画力
	創造力 学校で起こりうる課題を自らの課題として捉え直し、自分なりの対応策を考えたり、グループで話し合い新たな対応策を探ったりすることができる。
チームで働く力	発信力 課題発見力を駆使することによって生み出した自分なりの問題意識を、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現することができる。
	傾聴力 グループ討議では、新たな対応策を感じるために、他者の話をよく聞き、メモを取るなどして話し合うことができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 学習を習慣づけ、計画的に実践することができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

テキスト：『新版 学校を改革する 学びの共同体の構想と実践』佐藤学, 2023, 岩波ブックレット
 参考図書：文部科学省「小学校学習指導要領」

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：本授業は、4月から自信を持って子どもの指導に当たることができるようにするため、これまでの学びを振り返り、自分の弱みを克服していくところにある。従って、小学校教諭免許状取得に関わる全ての科目を基盤として位置づいている。
 資格との関連：小学校教諭1種免許状

学修上の助言	受講生とのルール
教職を目指す学生が、4月から教壇に立つためにどんな力をつけておくことが必要かを学ぶ授業である。真剣に、かつ積極的に授業に取り組むことが求められる。	教師として学校現場ではどうしたらよいか、という探求的態度で学ぶこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
	小テスト	0	①			
			②			
	レポート	50	①	✓		知識の獲得（今日の様々な教育課題に対しての適切な理解、様々な視点の理解）：40% 知識の活用（教育課題に対して協議を通しての自らの認識・指導の具体策の明示）：60%
			②	✓		
平常評価 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	課題の解決（様々な教育課題に対してのポートフォリオ作成と教育者としての理念の発表）：100%		
		②	✓			
学修行動 社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：予習や復習を行い、自ら主体性をもって学び続けることができる。 実行力：学校現場での想定事例について自らのこととして真剣に考えることができる。 課題発見力：想定事例をはじめ、今日の教育現場での課題を見つけることができる。 創造力：子どもの立場に立って分かりやすい授業を考え、授業計画を考えることができる。 発信力：教育課題についてスライドにまとめ、分かりやすく発表することができる。 傾聴力：話を聞いたり、メモを取ったりするなどして学ぶ姿勢ができています。 規律性：グループワークや課題提出日など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。		
		②	✓			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>① 教育に対する意識が高く、教員としての自覚を持った意見を発表できる。</p> <p>② グループで協力し、それぞれの力を発揮し、学び合う姿勢ができています。</p> <p>③ 課題意識を持ち、自分なりの言葉でまとめ、考察したレポートを作成することができる。</p> <p>④ ルールやマナーをしっかりと学び、意欲的に授業に取り組むことができる。</p> <p>⑤ 板書計画や授業に必要な教具を準備し、模擬授業を展開することができる。</p> <p>※ S（秀）については上記の点に加えて、ねらいと目標を明確にした指導案を作成したり、教育課題事例に対し自分の考えをしっかりと述べるができる。</p>	<p>① 教育者としての自覚を持った意見を発表できる。</p> <p>② グループ協議では、自分の意見をしっかりと発表しグループの考えをまとめることができる。</p> <p>③ 課題意識を持ち自分なりの言葉でまとめ、レポートを作成することができる。</p> <p>④ ルールなマナーをマナーをしっかりと学び、授業に臨んでいる。</p> <p>⑤ 既定の書式による指導案を作成し、模擬授業を展開することができる。</p> <p>※ レベルBを満たしていない発表やレポート、指導案や模擬授業はレベルCと判断する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○本授業の概要や進め方、教職に必要な資質等について理解する。 ○これまで様々な科目や実習で学んだことや自らの課題等をまとめ、ディスカッションする。	1. 講義：教員に必要な知識、技能と資質 2. ディスカッションと発表：実習で学んだことや課題をまとめ発表（教職ポートフォリオを作成）	・本授業の概要や進め方及び教職に必要な資質などについて理解する。 ・教育実習や様々な科目での学びを振り返り、成果や課題をまとめることができる。	（予習）配付された資料を読み、ワークシートにまとめる。 （復習）教職に必要な知識や技能、資質についてまとめるとともに自らの現状をふり返り、教職ポートフォリオを作成する。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
2	○小学校における学級担任の業務と責任について事例を通して学修し、レポートにまとめる。	1. ディスカッションと発表：小学校学級担任の業務と責任について。 2. 小レポート：ディスカッション内容をまとめ提出。 3. 講義：小学校担任の業務と責任	・小学校学級担任の業務と責任をレポートにまとめ、その内容を理解する。	（予習）学級担任の役割や業務内容を調べる。 （復習）小学校中学校の学級担任の役割の違いから、学級担任制と教科担任制の違いについてまとめ提出。 (Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
3	○学級経営や学級経営案について学習する。	1. 演習：新年度、大切な子どもとの出会いの1週間に何をすべきかを考える。 2. 演習：学級経営案を作成する。 3. 講義：新年度、教師にとって大切な1日目、3日目、1週間、そして1か月	・子どもとの出会いの1日目、3日目に話すことをまとめる。 ・学級経営案を子どもを想定しながら作成できる。	（予習）提示された資料を精読する。 （復習）学級経営案を作成する。（提出：Google Classroom）	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○学級づくりと児童一人ひとりとの関係づくりについて学修し、レポートにまとめる。	1. 演習：居場所があり安心していられる学級と教師の役割について考える。 3. 講義：安心・安全な居場所づくりと子どもとの人間関係づくり	・居場所があり安心していられる学級と教師の役割についてレポートにまとめ、その内容を理解する。	（予習）提示された資料を精読する。 （復習）レポートを作成する。（提出：Google Classroom）	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	○学校での事故の事例について学修し、その原因や防止について検討する。	1. 演習：事例から事故発生の要因と事故を起こさないための対応策を検討する。 2. 講義：学校事故と教師の責任	・学校事故の原因と防止策を考え、グループ・全体での協議において自分の考えを発表できる。	（予習）「学校管理下」「ハインリッヒの法則」等の用語について調べる。 （復習）学校における事故防止の観点をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	○実際の授業から学ぶ：授業（VTR）視聴、授業分析①	1. 演習：小学校の授業（VTR）を視聴し授業分析を行う。	・小学校の授業（VTR）及び授業記録から学んだことを説明できる。	（予習）提示された資料を精読する。 （復習）本時の学修をふり返り、レポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	○実際の授業から学ぶ：授業（VTR）視聴、授業分析②	1. 演習：小学校の授業（VTR）を視聴し授業分析を行う。	・小学校の授業（VTR）及び授業記録から学んだことを説明できる。	（予習）提示された資料を精読する。 （復習）本時の学修をふり返り、レポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	○児童の学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方について学修する。	1. 演習：学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方について個人検討、グループ討議、発表 2. 講義：学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方とは	・学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方についての理解を踏まえ、そのポイントについて自らのことばで説明することができる。	（予習）提示された資料を精読する。 （復習）学びの深まりを実現する教師の話し方・聴き方への自らの認識をまとめレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○児童の学びの深まりを実現する対話的学びについて学修する。	1. 演習：児童の学びの深まりを実現する対話的学びについて個人検討、グループ検討、発表 2. 講義：児童の学びの深まりを実現する対話的学びとは	・学びの深まりを実現する対話的学びについての理解し、そのポイントを自らのことばで説明することができる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 学びの深まりを実現する対話的学びへの自らの認識をまとめレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	○個別最適な学びと協働的な学びについて学修する。	1. 演習：個別最適な学びと協働的な学びについて個人検討、グループ検討、発表 2. 講義：個別最適な学びと協働的な学びとは	・個別最適な学びと協働的な学びについて理解し、その実現に向けてのポイントを自らのことばで説明することができる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 個別最適な学びと協働的な学びについて自らの認識をまとめレポートを作成する。(提出：Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	○「良い授業」をデザインするための考え方や具体的な方策について学修する。	1. 演習：「良い授業」をデザインするための具体的な方策について個人検討、グループ検討、発表。 2. 講義：「良い授業」をデザインするために	・「良い授業」をデザインするための具体的な方法について理解し、1つの授業をデザインすることができる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 授業での学修を踏まえ、1つの授業をデザインする。(提出：Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○学校での事故の事例について学修し、その原因や防止について検討する。	1. 演習：いじめ事例について個人検討、グループ討議、発表 2. 講義：いじめや不登校などの問題にいかに対応するか	・いじめや不登校発事件数の増加の背景を考え、これらの早期発見や初期対応について検討し発表する。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) いじめ発見や不登校防止に教員としていかに取り組むかを考察しレポートにまとめる。(提出：Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	○保護者や地域住民とのよりよいかかわり方について考察する。	1. 演習：保護者や地域住民との関わり方について個人検討、グループ討議、発表 2. 講義：保護者や地域住民といかに良好な関係をつくるか	・適切な保護者対応の仕方や地域住民との接し方について考え、レポートにまとめることができる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 適切な保護者対応や地域住民との関わり方について考察しレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	○その他の現在の学校教育の抱える諸問題(特別支援教育、外国籍児童対応、等)について学修する。	1. 演習：様々な教育課題について個人検討、グループ討議、発表 2. 講義：日本の抱える様々な教育課題について	・小学校担任として学習指導と学力向上との関連を理解し、学習指導に際しての留意点を述べる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 様々な教育課題への自らの認識をまとめレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	○小学校教師として成長していくための具体的な方法について学修し、ポートフォリオにまとめる。	1. 演習：小学校教師としていかに成長を図っていくか考察、協議し、自らのポートフォリオにまとめる。 2. 講義：教師として成長していくために	・これまでの学修をふり振り返り、今後自分が小学校教師としてどのように取り組んでいくかを述べることができる。	(予習) 提示された資料を精読する。 (復習) 自らのポートフォリオまとめ完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力